



2023年2月10日

各位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード番号 4563 東証グロース)
問合せ先 経理部長 櫻井 純

通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

当社は2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、研究開発費が大半を占めており、臨床試験の進捗によって、大幅に金額が変わってくることに、また、収益に関しては「前受金」に計上しております新型コロナウイルスワクチン開発助成金の認識時期が未確定であったことから未定としておりました。本日「2022年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました2022年12月期と前年実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当期連結実績と前期連結実績との差異 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前期連結実績 (A)	百万円 64	百万円 △ 15,632	百万円 △ 13,588	百万円 △ 13,675	円 銭 △ 92.86
当期連結実績 (B)	67	△ 16,316	△ 14,610	△ 14,714	△ 94.29
増減額 (B-A)	2	△ 684	△ 1,021	△ 1,039	—
増減率 (%)	+4.5%	—	—	—	—

2. 差異の理由

- ・売上高につきましては「コラテジェン®」は当面の治療に必要な数量を前年度中に概ね出荷完了しているため前期比で減収になったものの、稀少遺伝性疾患のオプションスクリーニング検査は前期に比べ受託数が増加いたしました。
- ・営業利益につきましては、研究開発費では、主に連結子会社である EmendoBio Inc. (以下 Emendo 社といいます) 社のゲノム編集治療の開発費用が増加したこと、販売費及び一般管理費では、為替の円安に伴い、Emendo 社買収に伴うのれん償却額が増加したこと等により、前年を上回る営業損失となりました。
- ・経常利益につきましては、為替の円安に伴い、外貨預金及び Emendo 社への貸付金の評価替を行った結果、為替差益が13億22百万円(前期は5億99百万円の為替差益)、「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に対するワクチン開発」及び Vasomune Therapeutics, Inc. の米国及びカナダにおいて獲得した助成金に関する補助金収入を3億93百万円(前期は15億円)計上しております。
- ・親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、「医薬品開発ビジネス事業」の固定資産につき1億4百万円の減損損失を計上いたしました。

以上